



みんなでかけっこ♪ 0～2歳児が親子で運動会



応援に駆けつけたわんこきょうだいの
そばっちは、子どもたちに大人気!

町子育て応援センター「しわっせ」と虹の保育園子育て支援センターによる合同運動会が6月2日、サン・ビレッジ紫波で開かれました。0歳から2歳までの親子57組135人が、かけっこや障害物競走などに挑戦。花巻市から参加した星川唯斗君(1歳)親子は「子育て支援センターのイベントに初めて参加しました。大勢のお友達と遊べて楽しめました」と満足の表情でした。



やったね!上手に取れたよ♪



「ごみの分別にご協力をお願いします」などと
呼びかけながらティッシュを手渡しました

ごみ減量に向けて啓発活動

紫波町環境衛生組合連合会(松崎勝見会長)と紫波町ごみ減量女性会議(瀬川智子会長)は5月30日、ごみ減量のPR活動として「ごみゼロ運動」を行いました。町新採用職員を含む33人が、町内4つのエコショップ認定大型店でごみ減量啓発ポケットティッシュを配布。瀬川会長は「環境に対する意識が高まってきていると感じます。今後も取り組みを継続したいです」と意欲を見せていました。

オガール東広場でウェディング

オガール東広場で5月29日、矢巾町にお住まいの細川謙さん(27)と紗也加さん(27)が結婚式を行いました。「開放感のある環境で、リラックスして結婚式を行いたい」との思いから実現したもの。親族や友人、オガールを訪れた人たちからたくさんの祝福を受けた2人は「多くの人に祝福していただけて、楽しかったです」と幸せそうな笑顔を浮かべていました。



オガール広場は、遊び場やイベント開催以外にも
さまざまな用途で使用されています

町人権擁護委員と町は、6月17日に星山小学校(三好博校長)、20日に日詰小学校(伊東雅美校長)で「人権の花」の贈呈式を行いました。この花は、紫波総合高生が育てたベゴニアの花苗を、けやき学園の方々が人権標語入りのプランターに植え付けたもの。日詰小では人権擁護委員の小笠原久子さんが「お花の気持ちになって育ててくださいね」とあいさつし、環境委員長の佐藤伶音君(6年)など3人が「素敵なお花をたくさんいただき、ありがとうございます」と笑顔で受け取りました。

思いやりの心育む 町内小学校に「人権の花」を贈呈



星山小では5・6年13人を代表して、小笠原信哉君(6年)が「大切に育てていきます」と思いを受け継ぎました



人権擁護委員の佐々木悦子さん(右)からプランターを受け取った日詰小環境委員会の3人

一中生がジャガイモの 植え付け作業を体験

紫波第一中学校(千田幸範校長)の2年生218人が5月31日、南日詰にある約20アールの畑でジャガイモの植え付け体験を行いました。この体験は(有)高橋農産(高橋信社長)の協力を得て行われ、今年で5年目。鎌田美保さんと高橋泉奈さんは「班で楽しく、協力して作業ができました。8月の収穫時期がとても楽しみです」と充実した表情で語っていました。



班ごとに分かれ、約400kgの種イモを30cm間隔で植え付けました



15年にわたって手打ちそばを提供してきた稲藤第一農産加工組合の皆さん

今後の活躍誓う 稲藤第一農産加工組合が15周年

志和地区で町産そば粉を使用した手打ちそばの加工・販売などを行う稲藤第一農産加工組合(西在家悦子組合長)が6月11日、「設立15周年のつどい」を開催しました。平成13年6月に29人の組合員で設立された同組合は、これまで「一之そば」の加工・販売や「新そばまつり」などを行ってきました。また、同組合によるそば打ち体験は、食育の推進につながっています。西在家組合長は「これからも皆さんに愛される商品を作っていきます」と抱負を語っていました。